

『授業連携報告書』

授業のテーマ

「宇宙開発と人との関わり」

目標(授業連携をした目的等)

科学技術の発展の過程について理解させ、さまざまな科学技術の利用によって人間の生活が豊かで便利になったことに気づかせる。

実施対象	学年	3	3	クラス	合計	109	名
授業科目	理科	科目「その他」の場合記入)					
単元	環境 科学技術と人間	授業日	2	月	14	日	

授業連携の前後の授業内容について

前	人工衛星や宇宙開発での技術が日常生活の中でどのように生かされているのかを考えよう。
後	ロケットが輸送手段となったら社会にどのような影響があるのかを考えよう。

時間配分	学習内容・活動	子供の様子	学校(先生)の役割・活動
導入 5分	・本時の学習内容の確認	素早くメモ用紙を後ろへ回す。	・メモの配布 ・生徒を素早く並ばせる。 ・講師先生の紹介をする。
展開 40分	・講師先生の自己紹介 ・宇宙とはどこからが宇宙なのか、宇宙の定義 ・どうして月は落ちてこないのか 物体が落ちる仕組みと第一次宇宙速度 ・ロケットの打ち上げと人工衛星 ロケット打ち上げの動画を見る ロケットの役割は輸送ということを知る 暮らしで役立っている人工衛星を知る ・JAXAが関わる宇宙開発、プロジェクトの紹介 水星探査、GPS(みちびき) ・近い将来の科学技術 ロケットが移動手段になっている 将来のCGの動画を見る。	出題された質問やクイズについて、何人かが挙手をして発表を行った。 ロケットが身近な移動手段となっている動画を見て驚いていた。	・生徒への支援を行った。
まとめ 5分	・質疑応答	出てきた質問 JAXAに就職するためにはどうしたらよいか。 JAXAにはどのような人が集まってくるのか。 宇宙から帰ってきたときのために必要な訓練は。	・質疑応答の進行を行った。

授業連携の感想・メモ

宇宙に関してわかりやすく、身近に感じるように講演をしていただけた。生徒たちも講師先生からの質問やクイズを考えながら宇宙について考え知ることができた。特に宇宙が100km上空からという部分では、東西に移動すると静岡や大阪くらいということで意外と近いところから宇宙であるという風に感じていた。
宇宙というと自分に関係のないことと感じている生徒も多かったが、講演後の感想を見ると、より身近に感じ興味を持った生徒が多かった。

授業連携アンケート

①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？	はい
②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？	はい
※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。	
宇宙に関する興味が高まった。また、宇宙開発や科学技術を身近なものと感じ、自分たちの生活とのつながりと影響について考えることができた。	
※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。	